

2025年（10月入学）

2026年（4月入学）

佐賀大学大学院入学試験問題

地域デザイン研究科

マネジメントコース

科目名：マクロ経済学

----- 解答上の注意事項 -----

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 「解答始め」の合図があったら、全ての解答紙の所定欄に受験番号を記入すること。
- 3 問題の解答は、別に指示がある場合を除き、所定の解答欄に記入すること。
- 4 「下書き用紙」がある場合は、「解答紙」とともに「下書き用紙」も回収する。ただし、「下書き用紙」に記入した内容は採点の対象とはしない。
- 5 その他、監督者の指示に従うこと。

問題 以下の問1あるいは問2のいずれかのひとつを選び答えなさい。

問1. 以下のすべての問いに答えなさい。

- ① マクロ経済における経済変数でのストック変数とフロー変数について説明し、GDP（国内総生産）はストック変数とフロー変数のどちらであるかを答えなさい。理由もあわせて述べなさい。
- ② マクロ経済における経済変数の名目値と実質値について説明し、経済的福祉の向上という観点からみたとき名目GDPと実質GDPの成長率のどちらを用いることが適切と考えられるかを答えなさい。
- ③ 株式などの証券の売買を考える。たとえば、Aさんが200万円で買った証券をBさんに300万円で売ったとき、その価格差は100万円である。この100万円はGDPの計算に含まれるか否かを答えなさい。
- ④ 海外との取引を考えない閉鎖経済において
総付加価値額 = 総所得 = 総支出
となることを説明しなさい。図を用いてもよい。
- ⑤ GDPの計算には含まれないが生活の質を向上させると考えられる活動について答えなさい。

問2. 次のようなマクロ経済モデルにもとづいて、以下の問い①～⑤に答えなさい。

$$\text{消費関数: } C = 200 + 0.8(Y - T)$$

$$\text{投資関数: } I(r) = 300 - 500r$$

$$\text{貨幣需要関数: } L(r, Y) = 0.1Y - 500r$$

$$\text{政府購入: } G = 400$$

$$\text{租税: } T = 0.25Y$$

$$\text{貨幣供給量: } M = 100$$

$$\text{物価水準: } P = 1$$

ただし、 Y は国民所得、 C は消費、 I は投資、 r は利子率とする。

- ① 均衡における国民所得、利子率、消費、投資を求めなさい。
- ② 均衡において財政収支は黒字、赤字、もしくは均衡しているか求めなさい。
- ③ 景気後退に対応するため、政府が政府購入を $G = 580$ へ増加させる拡張的な財政政策を実施したとする。新しい均衡での利子率と国民所得を求めなさい。また、貨幣市場の動きに言及しつつ、均衡がどのように変化するか述べなさい。
- ④ ③の拡張的な財政政策が民間投資へどのような影響を及ぼすか述べなさい。
- ⑤ ③の財政政策を行いつつ、利子率を①の水準に維持するために金融政策を行うとする。貨幣供給量をどのように変化させればよいか求めなさい。